

神奈川県本部

〒231-0025 横浜市中区松影町2-7-12飯田ビル
TEL: 045-663-4061 FAX: 045-663-4062
メール: nenkinkanagawa@nifty.com

3月5日現勢 組合員 10,261人
機関紙 6,311部
新年金署名 1,262筆

年金者しんぶん

神奈川県版 第283号 2012年3月15日

全日本年金者組合中央本部

〒170-0005 東京都豊島区南大塚1-60-20天翔大塚駅前ビル
TEL. 03 (5978) 2751 FAX. 03 (5978) 2777
発行人 篠塚多助 月刊1部100円 送料70円
昭和57年6月30日第三種郵便物認可



氷雨の中で全国統一行動 国会包囲と議員に引き下げ要請

「もう許さないぞ」と全日本年金者組合3・2全国統一行動が3月2日国会を包囲して開かれました。生憎の氷雨で寒さが身に伝えたが、首都圏から1000人以上の仲間が参加し、神奈川の横断幕も参加者と共に目を引きました。篠塚多助中央委員長が物価スライド2.5%削減法案の撤回を要求。後参加者全員が手分けして衆議院議員に年金を下げないよう頑張ると要請しました。

当日午後一時からの開設に4人の相談者が訪問しました。「40年掛けた筈が貰う額が少ないのでは」「家族のこと」についてなどの相談でした。5人の全厚生生労組の年金専門家と相模合同法律の高橋弁護士、県本部の小林、山本両社会福祉労務士など充実した体制で丁寧に対応していました。



説明も聞く方も熱心な年金相談

年金を振り込まれる度に、通帳と支払い予定表を見比べ、また赤字だ。そのため息と怒りがこみ上げてきます。野田内閣は社会保障と税の一体化の中で、大企業や富裕者には支援しながら、低所得者からは年金減額、消費税増税を行うおとしとしており、年金だけが頼り

支部・弁護士・労組が共同で 年金相談に大きな力

旭支部がチラシ2800枚でPR

横浜旭支部は2月25日(土)、県本部と共に年金や法律相談会として全厚生生労組と弁護士の協力を得て、旭区左近山団地で「年金・法律・労働相談」会を開きました。当日午後一時からの開設に4人の相談者が訪問しました。「40年掛けた筈が貰う額が少ないのでは」「家族のこと」についてなどの相談でした。5人の全厚生生労組の年金専門家と相模合同法律の高橋弁護士、県本部の小林、山本両社会福祉労務士など充実した体制で丁寧に対応していました。

相談者は「本当に来てよかった。わからない年金について、いつでも相談が出来る場所があるのは安心」と明るい表情で帰りました。そして支部

怒りの総決起集会

横浜技能会館に5000人
県庁まで元気にパレード

3月16日(金) 1時半

サークルについて2件の電話問い合わせと、相談者2人が組合に関心を持つてもらうなど、今後に向けて経験と確信を持つことが出来ました。

のくらしの中で高齢者は、たとえ100円の引き下げでも大打撃。県本部は自らの力で、年金引き下げをはね返そうと3月16日(金)午後1時半から、横浜技能会館

あなたの力作を一堂に!

県本部が隔年の文化祭

4月11日(水)~15日(日)
会場 かなつくホール(東神奈川駅)
(搬入 4月10日/火 午前10時~12時)
絵画・写真・書・民芸品など。
出品料は2点まで500円、詳細は申込書を参照

神奈川年金者文芸

(俳句) 横浜緑支部 吉田 一夫
柔ら陽に添われて若菜安らけき
川崎麻生支部 阿部 和子
雑壇にバリののみやげチヨコレイト
平塚支部 坪井 稔恭
大寒や向う三軒カレーの日
平塚支部 高橋 福松
散歩には二の足をふむ厚き霜
平塚支部 寺田 公明
バーゲンに賑わう声や日脚のぶ
秦野支部 平野雄一郎
雪だより語る言葉も重たげに

立春やオルガンの風わらべうた
秦野支部 土田 絢子
新雪を含めば軽ろし故郷の味
秦野支部 松本 サト
万歩計背筋伸して野水仙
秦野支部 渡辺 義雄
(川柳) 旭支部 本間鈍根花
あちこちで顔を覗かすシーベルト
旭支部 毛利やすひこ
念入りにお墓を磨く八十路過ぎ
旭支部 毛利やすひこ
放射能に追われ家族はバラバラに
横須賀支部 山田 良夫
惚け防止これでいこうと箇条書き

これからどうなる

④ 保障と税の一体化で年金も減らす
が、それが、その

これではくらせない 年金減額をやめろ

健ちゃん 年金が減ってがくんときたね。昨年に比べ単身68歳のAさんは厚生年金で月額1858円も減らされた。単身68歳の女性Cさんも遺族年金で2108円減だ。これでは暮らしていけない。
健ちゃん しかも1回だけでの減額ではない。野田内閣は12年前の給付まで持ち出し、3年間で払い過ぎの2.5%。マクロ経済スライド発動検討で0.9%減額1750円。と減額のオンパレードだ。これでは誰だって悲鳴をあげ、我慢ができない。
Qちゃん 野田内閣は社会保障と税の一体化で年金も減らす。ごまかそうとするなら、年金を専門とするわれわれの組織が、前面に出て頑張る必要がある。
(松永)

消費増税も負担が大変なのに、年金減額は低年金者の生活破壊だ。政府がわれわれの目をこまかそうとするなら、年金を専門とするわれわれの組織が、前面に出て頑張る必要がある。
(松永)

神奈川第2次総合計画

39支部が討議を終了

高齢者に優しいまちづくり

高齢者が、いきいきと豊かに暮らしていけるまち「神奈川第二次総合計画」に向けて、2017年6年後の支部のあり方を、年末から全支部で討議してきました。2月末、39支部が討議を終えています。

一人ぼっちの高齢者をなくすための独居老人マップ、暮らしの助け合い活動、外出に欠かせない路線バス、コミュニティバス、敬老パス、バリアフリーの拡充、歩道拡張、段差の解消など高齢者に優しい「まちづくり」に向けて、意気高い要求が盛り込まれています。

この要求を実現する



鈴木久夫書記長

ための6年後の仲間づくり目標を、全支部活動交流集会までに36支部が立てています。

3・11から1年目 県労連が各地で行動

3月11日は大震災から1年になります。神奈川県労連では「原発ゼロ」や「被災者支援・震災復興」などで行うことを呼びかけ、年金者組合本部も独自行動を実施するほか、各地域労連が中心になって大震災1年、3・11行動計画を立てています。

鶴見区では鶴見駅を起点にパレード。港北区は

月と太陽がめぐり合う

5月21日 朝7時半

横浜で金環日食

日頃の緊張感をしばし忘れて、夢とロマンの月と太陽が巡り逢うひとときを。首都圏では実際に観測するのは畑地など広いところが適しています。肉眼で見ると美しい状態で見ることが出来る「中心食線」が通ります。

173年ぶりとなる「金環日食」を観測することが出来ます。

その日は5月21日(金)午前7時30分ころが最高。特に緑、旭、

趣向をこらして宣伝 毎月15日 年金行動 川崎麻生支部

麻生支部では毎月15日に宣伝行動をしています。今年も全県一斉行動というところで、趣向をこらし宣伝しました。

年金のチラシに登場する動物たちが帽子をかぶり新しい横断幕にポスター、桃太郎旗と取り揃え、社保協の皆さんと合同で新百合ヶ丘駅頭で宣伝。

買い物途中で 夫婦仲良く署名

横浜中・西支部

横浜中支部と西支部が合同で2月15日、「年金下げるな」のぼりや横断幕を掲げ、伊勢佐木町有隣堂近辺で、12人が「年金を下げるな」の宣伝を行いました。

最近伊勢佐木町は高齢者の買い物客が多く、奥さんが主人に「あなたも協力しなさいよ」と呼び



川崎市では国保料の大幅値上げ問題で緊急署名もあり一時間で国保料が113筆、年金は37筆が集まりました。

(麻生支部・大蔵敦子)

石巻センター 応援物資で 感謝の挨拶 石巻支援センターか

役員が中心に駅頭で 年金を下げるなと訴え

相模原支部・淵野辺駅

かけ、夫婦で署名に応じるなど、年金が下がることに不安を感じていることがはっきりしています。当日は1時間足らずで57人が署名してくれました。

中支部は組合員数が少なくなかなか実行できませんが、同じ少数の西支部と合同で外に出ての行動を行いたいと思っています。

2月15日は年金を下ろす日、支部役員会を早めに終わらせ、JR横浜線淵野辺駅で役員を中心に、参加者12人で署名活動を行いました。

温かい昼間も4時過ぎると寒さがひしひしと感じられます。のぼりやポ

スター、ハンドマイクも使い、チラシ180枚を家路を急ぐ人たちに手渡ししました。チラシを受け取る人たちの反応は普段とは異なり、署名に応じた方は24人。



(相模原支部 斎藤信幸)

も今政府が強引に進めようとしている「社会保障と税の一体改革」には不満や不安が多く感じられました。

我慢できない 年金減らし 鎌倉支部が初めて取り組み

年金支給日の2月15日、天気が悪い中で鎌倉支部13人の仲間たちが大船仲通りで、年金がこれ以上減らされるのは我慢できない。野田内閣はもとに戻せと市民に訴え、1時間95人の署名をいただきました。

原発や不景気など見通しが暗く感じる今日このごろ、年金も減らされ、今でさえ苦しい消費税が2倍の10%になる。とてもではありません、これでは生活の破壊が目に見

ら物資、カンパを送った謝礼が寄せられました。仮設住宅は部屋だけの提供で家具などは全部自分で揃えます。入居者は高齢の人が多く、費用を調達するのも難儀です。住宅は設備も悪く、厳しい寒さが体に伝えます。

電気のコネセントも少なく、あんかやカイロが不足。トイレレットペーパーやティッシュペーパーも不足しているようです。資金カンパを寄せてくれることができれば、よろしくとのこと。

年金受給者は高齢者が多く、年金による生活が大部分です。わずかな減額も生活に響きます。署名はその現れです。鎌倉支部は年金支給日の行動として初めての取り組みです。これからの年金支給日行動として続けていきます。

皆さんのお手伝いをお待ちしています。(鎌倉支部 田口 清)

春の墓前祭

4月20日11時 共同墓前で開催

多くの組合員の期待と熱意で共同墓所が立派に出来上がりました。今後は墓前祭を中心にして、墓所の安定した日常管理と運営を重点とします。

次の墓前祭は春真つ盛りの4月20日11時、南葉山霊園で行います。仲間を大切にしたい年金者組合らしい墓前祭にしたいので、今後は全支部がもれなく代表参加者をお願いします。

強調したいのはこの墓前祭は県本部全体の物故組合員全員を追悼する場ということです。年金者組合20年の歴史と1万人を超える組合



(共同墓所管理運営委員 鈴木ゆうじ)

員こそが共同墓所の基盤であり、今後とも年金者組合の発展と墓所の安定運営とは表裏一体と考えます。

年間2回の墓前祭成功のために、ぜひとも各支部の知恵と力をお願いします。

(共同墓所管理運営委員 鈴木ゆうじ)

サークル活動

自由な取り組みで 組織も大きく強く

を分担して受け持ち、状況を把握するが、サークルは好きな人が自由に作る。サークルの立上げ、活動場、担い手の育成運営等々、各支部の知恵と工夫の実践を学びあえた2日間でした。

(津田史子)

二支部の提起を受けて

参加者から日頃のサークル活動の悩みや、課題等を出し合い議論しました。サークルの立上げ、活動場所、担い手の育成運営等々、各支部の知恵と工夫の実践を学びあえた2日間でした。

(津田史子)



サークルは楽しくなければ

仲間づくり・共済

誕生会のついでに 手づくりの小物が人気

楽しくなければ仲間づくりも進まない。各支部で取り組まれている誕生会のプレゼントが話題になりました。「手づくりの小物を贈っている」「にゃんこリップに誕生カードをはさんで手渡ししている」「お花が好評だ」等苦勞話が出されました。

(渡辺義朗)

医療・介護

発行が全国ワースト1 横浜市が資格証で

はじめに村田さんから「ホントにあぶない社会保障と税の一体改革」のパンフを元にどうなっていくのかの報告があり、介護の提供時間の短縮や介護保険料の値上げについて話し合いました。

横浜市は資格証の発行が全国ワーストワンだと話す横須賀市は県内で2番目だと報告がありました。

2日目は医療・介護はまちづくりにつながるという事で、川崎市の防犯ベルを一人暮らしの高齢者に配られていて不審な



五つの分散会で 自由な話し合い

今回行われた全県支部活動交流会は新しい試みとして、五つの分科会にわかれて、日頃考えている活動について突っこんだ意見交換ができました。

第2次総合計画は各支部の討議によって計画が作られるので、今後の取り組みに大変役立ちました。

年金問題・相談活動

年金学習で 鎌倉110回を越す



内容も専門的になる

年金者組合の最も重要な課題の年金学習・相談の分科会に参加しました。参加者は13人と少なかったのですが、話し合いの中味は、具体的にこれからの活動の指針になったと感じました。

鎌倉支部の110回を超える活動の報告と旭支部のこれから行う相談会の計画を受けて、各支部の現状を出し合い、必要性を話し合いました。

相談会は行っていないが、支部ニュースに、相談を受ける内容の掲載を継続して出していた支部単発的に相談会を実施している支部等も多くあり、必要性を再認識しました。

大事なことは、大上段に構えるのではなく、疑問を話し合うことから始め、継続する事、宣伝をすることに尽きるのではないかとの結論になりました。町内会ごとに計画することにより仲間増やしにもつながる年金相談会、これからの取り組みに一歩進んだ分科会でした。

(山内寿代)

前進座公演
5月11日(金) 12時
歌舞伎十八番 **芝流の**
鳴神 革財布

まちづくり・助け合い

弱者に助け合い 行政の利用が大切

高齢者が安心して住みよいまちづくりへの県方針をどう活動に結びつけるか、仲間ふやしに結びつけるかを愛川支部からの問題提起のあと22人の参加で話し合いました。

都市計画により発生する駅移動問題、かなちゃん手形の問題、独居老人への安心カードの話など、現実における問題に取り組み、自分たちの経験を開き、自分たちの支部の参考になることを取り込み、皆さん熱心にメモを取っておられました。

2日目は主に助け合い活動を中心に話し、年金者組合だからこそ助け合いが必要。集金・配達の際に声掛けをする、送迎や植木の剪定などそれぞれ気配り・助け合いはしているが自分たちだけでは限界がある。行政主導の会議にも参加してそれを利用することも大切。助け合いについてのアンケートを取り、今後の活動に活かしていくべきではとの話にまとまりましたが、新たに出されたテーマだけに難しい問題だともいえます。(太蔵野子)

1000円以上の最賃を 年金者組合も全面的に支援する

日本の低賃金状況を変えていくために「最低時給1000円以上に引き上げてほしい」神奈川県労働裁判所ははじめました。

2月27日、前田裕幸さん(小田原支部)が横浜地裁で意見陳述。

国鉄で働いていたが体を壊し、57歳で退職。60歳からは約10万円の年金だけでは生活できず、就職を希望するが難しく、やっとみつけたリゾートマンションの清掃も推問板ヘルニアの持病で仕事はきつい。

時給は850円、3人交代勤務で1カ月の収入は9万円。年金と合わせて19万円では、再就職するまでの国保や税金の滞納、当面の生活費借金返済、医療費等の実費が多く、生活維持ができません。

最低賃金制度を1000円以上に引き上げてもらえれば希望が見え、働く意欲も湧きます。これは前田さんだけの問題ではありません。働く高齢者全体の問題です。年金者組合として、この裁判を支援していきたい。

訴えたい人は県本部にご連絡を。

100人以上の原告団(現在94人)で裁判を進めていきたいと思えます。

高齢女性の生活実態調査

4月27日メ切

女性の会では、女性高齢者の生活実態調査を実施する事になりました。現在マスコミ等で高齢者が年金をもらい過ぎてしていると宣伝しています。果たしてそうでしょうか。国民年金の方は月額3万円余で生活している大変な事態があります。

結果がまとまり次第、中央本部女性の会では、マスコミへの発表を含めて、厚労省交渉などに活用していくそうです。

支部の皆さんのご協力を得て進めて下さることをお願いします。(アンケートは女性組合員を対象に行います) ※尚、ご記入いただいたアンケート用紙は、封筒に入れ、封をして係の者に渡すか、郵送してください。

ご不明の点は県本部女性の会にご連絡下さい。

電話 045(662)4061 女性の会会長 大貫多喜子



1月27日(金)第8回女性の会総会と記念講演・新年会が横浜市従会館で賑やかにそして元気に開催されました。今、社会保障と税の一体改革の名のもとに、年金の引き下げ、消費税の引き上げなど、次々と改悪案が国会に出さ

女性のパワー全開!!

総会・講演会・新年会

れています。この3月で一年になります。福島原発はまだ収束に至っていません。今回は、総会は少し短くなりましたが、伊

支部だより

小田原支部で

梅見の会に参加!

恒例の梅見の会に支部女性の出店が参加しました。昨年は生憎の雪と雨で中止になりましたが、今年もまた気温の低い日が続いたせいか、梅の花が殆ど咲いていない状態での開催でした。しかし、事前に配ったチラシのお陰で川崎や秦野からの参加者がいて感激しました。寒い時の開催で出店する方も参加者もたいへんでしたが、今年も男性陣が奮闘して「寒汁」作



小田原支部 梅見の会

り協力してくれました。女性陣の手づくりの



第8回 女性の会総会

おにぎりやお弁当に何種類ものおかずと玉子ニヤク等々で彩られた私たちのお店は大賑わいでした。加えて沢山の提供品が寄せられ、ブルーシート一杯に広げられたバザーも大盛況でした。「さわやか女性のつどい」にもこの勢いで参加できることに繋がりました。(飯島明子)

2月18日、横浜中支部では再建後初めての学習会を地域にチラシを配布して行いました。テーマは「社会保障と

その時々をテーマに学習会開催! 横浜中支部

税の一体改革」、講師は横浜市社保協の阿部事務局長でした。中支部にとっては地域に年金者組合があるという事を知らせる初めての経験でした。何人参加するの不安でしたが、年金者組合以外からも参加があり、18人での開催となりました。質問では「共済年金に入っているが、一本化になるとどうなるのか」「介護保険がどう変わるのか、具体的なことが分からず心配だ」などが出されました。中支部では、その時々をテーマに学習会を進めていきたくと思っています。(中支部 村田泰子)

短時間で方針決まる。今年の方針が判り良かった。「さわやか女性をつどい」と「高齢

解りやすく良かった。実際に見聞した話には説得力がある。今、本

白波五人衆は、世相をよくとらえて良かったと思

思いました。リフォームの衣裳がとも良かった。作ってみたいと思

参加者の感想から

藤千尋講師の地球に活かす自然エネルギーの記念講演、はじめて取り組んだ各支部のサークルを紹介する新年会と盛り沢山の内容でした。会場いっぱい集まった女性の熱気は、今年開催される「さわやか女性をつどい」と「高齢女性の生活実態調査」のアンケート活動を成功させるための団結の源になった一日でした。

女性の実生活実態調査」を成功させたいと思った。(旭支部 梅津)

過密スケジュールとありますが、各支部からの結集で女性のパワーが交流できて良かったと思います。(西支部 三井)

一つ位は得意なものがあったらいいなと思いましたが。(戸塚支部 島田)

会場は遠いけどもつと参加して欲しい。南京玉すだれが楽しくて良かった。小田原にも欲しいね。(小田原支部 藤田)

第11回 「さわやか女性をつどい」 日程決まる!

2012年10月5日(金)

神奈川県立青少年センター (横浜市西区紅葉坂)

第1回実行委員会が2月24日開催され、講師の依頼やチラシづくりなど具体的に動き出しました。各支部の皆さんの大勢の参加をお願いします。